

シンポジウム「日本のエネルギー・環境政策選択」

-E3MG マクロ計量モデルを活用した日本のエネルギー・環境政策の評価と選択-

1. シンポジウム開催日時および場所

2013年7月6日(土) 14:30~18:00

名古屋大学大学院国際開発研究科(8階多目的オーディトリウム)

シンポジウム終了後に懇親会を開催 (懇親会のみ会費制)

2. シンポジウムプログラム

司会：藤川清史(名古屋大学国際開発研究科教授)

○開催挨拶(14:30~14:40)

李秀澈(名城大学経済学部教授)

第1部 講演

○講演1(14:40~15:10)

李秀澈(名城大学経済学部教授)

「マクロ計量モデルを用いた日本の炭素税改革の環境・経済効果」

○講演2(15:10~15:40)

朴勝俊(関西学院大学総合政策学部准教授)

「日本の2030年電源選択と再生可能エネルギー発電の環境・経済効果」

○講演3(15:40~16:25) (講演は英語, 日本語による要約つき)

Unnada Chewprecha(Manager, Cambridge Econometrics, UK)

“The EU Energy Policy and its macroeconomic impacts on the EU economies”

○休憩(16:25~16:40)

第2部 パネルディスカッション (16:40~17:50)

「日本のエネルギー・環境政策選択」(議論は日本語, 英語の発言には通訳つき)

パネリスト:

植田和弘(京都大学経済学研究科教授)

李秀澈(名城大学経済学部教授)

朴勝俊(関西学院大学総合政策学部准教授)

Unnada Chewprecha(Manager, Cambridge Econometrics, UK)

高村ゆかり(名古屋大学環境学研究科教授)

○閉会の挨拶(17:50~18:00)

植田和弘(京都大学経済学研究科教授)

3. 懇親会(18:10~19:40)

名古屋大学南部生協2階 (会費制)

主催：東アジア環境政策研究会

共催：名古屋大学大学院国際開発研究科・名城大学経済学部

本研究はJSPS 科研費 基盤研究(A)25241030 (代表：李秀澈)の助成を受けています。

科研費
KAKENHI

○連絡先

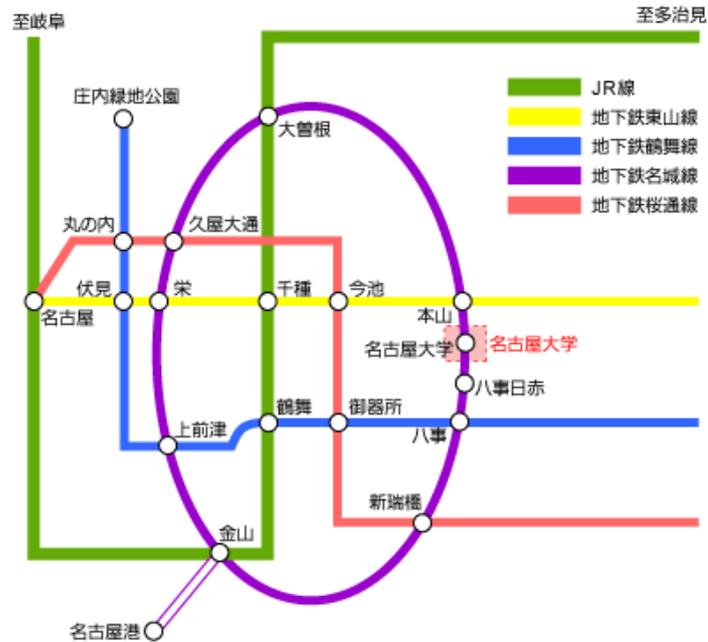
主催：名城大学経済学部 李秀澈 slee@meijo-u.ac.jp

会場：名古屋大学国際開発研究科 藤川清史 fujikawa@gsid.nagoya-u.ac.jp

○名古屋大学へのアクセス

名古屋駅より地下鉄東山線(藤が丘方面)に乗車し、本山駅で乗り換え.

本山駅から地下鉄名城線(右回り)に乗車し、名古屋大学駅で下車. 1 番出口へ.



○国際開発研究科へのアクセス

地下鉄名城線名古屋大学で下車し、1 番出口に向かう

下記地図のルート 1(南玄関ルート)かルート 2(北玄関ルート)に沿って進む.

(はじめて来られた方には、ルート 1 の方がわかりやすい.)

シンポジウム会場は、国際開発研究科棟の 8 階のオーディトリウム

